



今日 お薬手帳 持っていますか？



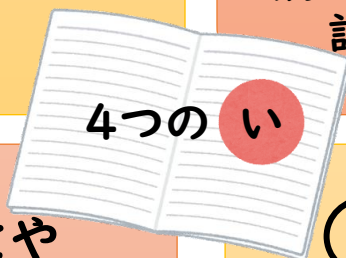
お薬手帳は **い** いことだらけ、是非活用してください！

① 医療機関にかかる時は必ず持っていきましょう

お薬の重複や飲み合わせを未然に防ぎます
同じ薬による副作用を防止できます

② 一冊にまとめましょう

お薬手帳は
あなたの薬の歴史です
複数の病院や診療所ごとに手帳を作る必要はありません
飲んでいるすべての薬を1冊に記録することが大切です



③ 言いたいことや伝えたいことを書いておきましょう

お薬や体調のことなど
医師・薬剤師に相談したいことをメモしてください

④ 一般用医薬品や健康食品・サプリメントも記録して

思いがけない、よくない組み合わせ・食べ合わせが見つかるかもしれません



お薬手帳があれば、旅行先で病気になった時や災害時に避難した時にあなたが飲んでいる薬を正確に伝えられます



電子版お薬手帳もあります
紙で記録していたお薬手帳をスマートフォンアプリ管理できます

電子版お薬手帳 アプリ





当院ではこのようにお薬手帳の情報を活用しています



入院センター

入院が決定すれば、入院センターで薬剤師面談を行います
薬剤師はお薬手帳からこんなことを確認しています

- ・どこの病院にかかっているか
- ・どのような薬を飲んでいるか
- ・いつから薬を飲んでいるか
- ・かかりつけ薬局はどこか
- ・アレルギーや副作用はあるのか



検査や手術によっては
血液サラサラのお薬や糖尿病薬などを
入院前から休薬する必要があります

休薬できていないと、場合によっては入院や手術の延期となります
入院する前に薬やアレルギーの確認することが大切になります

入院・退院

入院すれば、再度薬剤師がお薬手帳をもとに面談します
聞き取った情報をもとに、入院中に処方するお薬が決まります

入院中のお薬の変更や退院のお薬、注意事項や
かかりつけ薬局の薬剤師へお伝えしたいこともお薬手帳に記載します